

経尿道的膀胱碎石術・尿管碎石術(TUL)を受けられるID: 様へ

バスコード: 13002 世代: 6

発行日: 1900/01/00

経過	入院(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	退院後の診察
月日	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	退院日(月日)	(月日)
達成目標	手術に必要な処置を受ける事ができる。 手術に必要な準備が理解でき、指示を守ることができる。 	不安なく落ち着いて手術を受けることができる。	安静を守ることができる。 痛みや気分の悪さを我慢せず伝えることができる。	安静解除後、看護師と共によりしっかりと歩くことができる。 尿管が抜去でき、自尿がみられる。		退院おめでとう ございます 退院することができる。 退院後注意する事や症状が何であるか理解できる。	療養生活が継続できる。
治療・処置・検査・薬剤(点滴)	持参薬の確認をします。 中止指示のあるお薬を飲んでいないか確認します。 	*手術日時: 年月日(曜日) 時分の予定です。 指示された薬のみ少量の水で飲んで下さい。	点滴・尿管が入っています。フットポンプがつきます。 持参薬の内服を再開します。(抗血栓薬以外) 詳しくは当日看護師より説明があります。	昼食5割以上摂取できれば点滴の針を抜きます。(状況によって追加します) 尿管を抜いた後最初の自尿は看護師に見せてください。(簡単な残尿エコーの検査をします)			
採血 検尿 心電図 レントゲン (外来で検査が終了していれば必要無いです。)				採血			
安静度	特に制限はありません。 		翌日の朝までは基本ベッド上安静です。 ベッドの上で体の向きを変える事はできません。 背もたれは術後3時間後より起こすことが出来ますが、必ず看護師に確認してからあげるようにして下さい。	朝の状態に変わりなければは看護師が見守りをしふらつきなく歩けるか確認をします。 それ以降は制限はありません。	特に制限はありません。 		
食事	特に制限はありません。 	飲水可能時間 手術時間で異なります 08:45 - 12:59... 6時まで飲水可 13:00 - 16:00... 10時まで飲水可 16:00... 13時まで飲水可 手術時間は看護師から説明があります 当日朝から絶食です。	水分・食事の時間は看護師より説明があります。 (基本、水分は病室に戻って3時間後、食事は翌日の朝からとなりますが変更となる場合があります。)	朝食より食事が再開します。 ベッド上での食事となります。	特に制限はありません。		
清潔	お風呂に入り体を清潔にします。 主治医の指示がある場合は切毛をします。	手術当日は控えて下さい。		尿管は術後1-2日で抜かれます。 尿管が入っている間はシャワー浴。尿管が抜ければ入浴が可能です。 尿管が入っている間、シャワーをしない日は陰部を洗浄します。	退院後の療養生活上の留意点 出血を予防するため以下の事に注意して下さい。		
排泄	尿の色を確認します。 尿量の測定・記録をして下さい。		手術中に尿管が入ります。 帰宅後3時間がたてば排便時のみ車いすですトイレに行けます。 ナースコールを押して下さい。	尿管を抜きます。 (尿の色や量、検査で主治医が判断します) 尿管が抜けた後は、尿量の記載を再開してください。		・1日に2000ml程度の飲水を心がけて下さい。 ・煎茶・コーヒー・紅茶などは結石の原因となりますのでほどほどにして下さい。 ・食事はバランスよく、規則正しく摂取して下さい。 (脂肪・動物性タンパク質はとりすぎない) ・飲酒は次回外来までひかえて下さい。 上記のことは次回外来まで注意し、何かあれば次回外来時に主治医にご確認下さい。 尿の色や、出具合を気にするようして下さい。 ・腰やお腹がすぐ痛む ・尿の色が退院時より赤く、血の塊があったり、おしっこが出ない。 ・高熱がでる。 などがあれば 外来受診して下さい。	
患者様及びご家族への説明	主治医より入院・治療について説明があります。 麻酔科医による診察・麻酔に関する説明があります。 手術室看護師の訪問があります。 看護師より手術までの流れに関する説明と必要物品の確認をします。 お名前確認のためネームバンドを付けます。 用意するもの ・ビニール袋2枚(靴と寝衣を入れます) ・テープ式の紙おむつ1-2枚 ・吸い飲み、又は先の曲がるストロー、コップ 入院・退院について心配があれば相談して下さい。 手術をする側に印を付けます。	必要物品はベッドの上にとめておいて下さい。 寝間が汚れていなければ、着替えはせず、排尿をすませてお待ち下さい。 コンタクトレンズ・腕時計・指輪・ヘアピン・かつら・入れ歯・アクセサリー等は外して下さい。 手術室で術衣に着替え、入室します。 貴重品は必ず家族の方へ 弾性ストッキングをはいて下さい。 *ご家族の方にはボケベルをお渡しします。 *ご家族の方は2階の「家族待合室」または病室でお待ち下さい。	麻酔から醒めてきたら、足の感覚が戻ってきます。 それと同時に尿管の違和感や痛みなど尿管の刺激を感じる場合があります。 その際は遠慮なくナースコールを押して下さい。 痛みを和らげるお薬を使います。	尿管のバッグは腰より低い位置で持って下さい。 管をひっぱったりしないよう気をつけて下さい。 点滴がなくなるので水分をしっかり取って下さい。 	退院について不安・質問などあれば、遠慮なく医師・看護師にお申し付け下さい。 		

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

主治医

大阪南医療センター クリニカルパス委員会 2021/10/7承認